

1. 主 催

三重県教育委員会・三重県高等学校体育連盟・三重県フェンシング協会

2. 後 援

公益財団法人 三重県スポーツ協会

3. 期 日

令和8年5月30日(土)~31日(日)

4. 主 管

三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部

5. 会 場

エスコラピオス学園海星高等学校 体育館

三重県四日市市追分1丁目9-34 TEL 059-345-0036

6. 競技日程

5月30日(土) 7:30 開館・会場設営

8:30 最終コール

9:00 監督会議

9:10 審判会議

9:20 開始式

9:30 競技開始

※ 個人対抗男女フルーレから始める。フルーレ終了後にエペ・サーブルを行う。

5月31日(日) 8:00 開館

9:00 競技開始

12:30 閉会式

7. 大会役員

部 長 服部 芳 尚 (海星高等学校長)

理 事 長 福田るり子

委 員 長 日向和義

副 委 員 長 松 本 優

総務委員長 杉谷佳紀

総 務 田 中 健 増田光希 今井幹夫

技術委員長 松 本 優

審判委員長 辻 高 明

審判委員 柏木慈理 上村明武 吉田智哉 池畑柊祐 水貝隼大

北川獅旺 高橋侑杜 伊藤匠吾 その他専門部が認めるもの

進 行 係 中川佳代 那 須 茜

記録・報道	日向和義
救護	中川佳代
会場責任者	日向和義
補助役員	県内フェンシング部員

8. 実施種目

個人対抗男女フルーレ・エペ・サーブル 学校対抗男女フルーレ

9. 試合規則

- ① 公益財団法人全国高等学校体育連盟フェンシング専門部試合規則を準用するが、一部三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部のローカルルールを適用する。
- ② 事前の用具検査は行わないが、フルーレとエペにおいては剣のポイントの圧力の検査をピスト上で審判員が行う。
- ③ ポイントの圧力以外の試合用具の検査においては各校で行い、当日ピスト上で審判員が不適合と判断した場合は罰則の対象となる。

10. 競技方法

① 個人対抗

- i. 男女とも予選(プール戦)を行った後、エリミナシオンディレクトを行う。
- ii. 予選の組み合わせは、令和8年度の春季大会を参考にコール終了後に専門部で行い発表する。
- iii. 優勝者が決定した後、2～4位決定戦をトーナメント方式で行う。
- iv. エリミナシオンディレクトにおいて、Pブラックカードが付与された場合、予選順位の高い選手に優先権がある。ただし、2位決定戦においては、1位決定戦で敗退した選手に優先権がある。

② 学校対抗

- i. プール戦で行う。なお、組み合わせについては、令和8年度の春季大会の男女学校対抗戦の結果を参考にする。
- ii. チーム編成は、監督1名と正選手4名の計5名とし、試合は5本勝負の5勝先取で行う。順位が確定するまでは9戦全て行うが、確定した後はチームが5勝した段階でその試合を打ち切ることがある。
- iii. ベンチ入りは、監督含めて5名までとする。

11. 引率・監督について

- ① 引率責任者は、校長の認める当該校の職員か県職員とする。
- ② 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者である場合は損害・賠償責任保険に加入すること。

12. 参加資格

- ① 選手は、学校教育法第1条に規律する高等学校(中等教育後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- ② 平成20年4月2日以降に生まれた者とする。
- ③ 出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- ④ 学校対抗において、全日制過程、定時制課程、通信制過程の生徒による混成は認めない。
- ⑤ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームでの参加を認める。
- ⑥ 転校後6カ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、三重県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

⑦ 本年度の三重県・日本フェンシング協会に登録済みであること。

13. 表彰

① 個人対抗 各種別 1～4 位に賞状を授与する。

※ 1, 2 位を全国総体へ, 1～4 位を東海総体へ推薦する。

② 学校対抗 1 位に賞状と優勝盾(持ち回り), 2・3 位校には賞状を授与する。

※ 1 位を全国総体へ, 1, 2 位を東海総体へ推薦する。

14. 参加申し込み

① 参加申込書は, 三重県高等学校体育連盟のホームページよりダウンロードし, 必要事項の記入と校長印を押印のうえ当日大会運営費(1 人 1000 円)を添えて提出すること。また, 申し込み書の Excel データにて下記メールアドレスに 5 月 26 日までに送ること。

専門部事務局メールアドレス kazuyoshi.hyuga@kaisei.ed.jp

② 右側 QR コードの申し込みフォームより個人対抗においては選手各自が 5 月 25 日までに申し込むこと。



15. 大会運営費

1 人 1,000 円

16. その他

① 大会参加に関して

- i. 競技中の疾病, 傷害などの応急処置は原則各学校で行うこと。
- ii. 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により出場できなくなった場合は, 開会式 48 時間前までに学校長の承認を得て専門部宛に専門部既定の様式にて書面で提出し承認を得ること。
- iii. 外部指導者が監督する場合は, 複数校の監督を兼ねることはできない。

② 競技に関して

- i. 上下衣, 黒色でないストッキングを着用すること。特に試合中に膝が出てこない長いもので, かつ厚いものを着用すること。また, 企業名が入ったユニフォームは認めない。
- ii. 上衣の中には必ず半袖プロテクター (FIE) を着用し (FIE 公認ユニフォームでも着用のこと), 女子の選手は金属または硬い素材でできている胸当てを両胸に着用すること。(フルーレの選手はその上にソフトカバー着用)
- iii. 選手は頭髪に注意し, 試合に支障のないようにすること。特に, 頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
- iv. ゼッケンについては縦 15cm×横 20cm の布に上部に選手名、下部に学校名を明記したものを各自の後ろ足の膝の外側につけること。同一校に同姓の者がいる場合は識別できるよう名を付けても良い。
※剣が入らないように全面(4 辺全部)を縫い付ける, またはスナップボタン(安全ピン不可)で留めること。
- v. ベンチの入場者は, 当該種目監督及び登録選手とすること。
- vi. 外履き・内履きの靴は, 競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダルなどは許可しない。
- vii. 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。レッスンを行う際は袖付きのプロテクターを着用すること。袖なしプロテクターでレッスンを行う場合は必ず長袖のユニフォームを着用

姓
学校名

すること。

- viii. 剣で床を突かないこと。また、剣の曲がりを直す場合は備え付けのベニヤ板の上で行うこと。
- ix. エペのガードの内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようにすること。
- x. ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーワイヤーのプラグに装備されていること。